

釜石祥雲

学校報 No. 23
発行:平成 26 年 1 月 30 日
釜石祥雲支援学校

今年も宜しくお願いします



本校舎正面玄関に、小学部 5 年生からの大きな年賀状が届きました。書いてくれた二人も記念撮影をしました。今年も元気に学習していきましょう。

さて、冬休み明けの校舎内には、書き初めが多く展示されています。

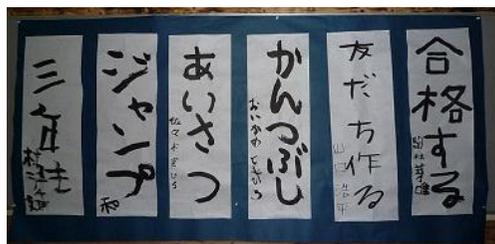
覚えたての漢字や平仮名を初めての墨と筆で書いた可愛い書き初め。

また、小学部 6 年生と中

学部では、ステップアップを意識して、がんばることや今年の願いを力強く表現しています。

各教室前には、冬休みの生活の様子分かる絵日記や毎日の記録表なども掲示されています。

送迎のうちに、遠慮無く校舎内にお入りになってご覧下さい。



復興

復興教育の取り組みとして、昨年度は、『復興ひまわりを咲かせよう』を行いました。今年度は『復興ステッカーを送ろう』と、震災以後不



自由な生活ながらも頑張っていることや、ご支援いただいたからこそ頑張りが続けることができていたという感謝の気持ちを伝える活動を行っています。復興ステッカーとは、23年度に高等部で文字とイラストを描いてボランティアセンターに作成していただいたものです。

高等部や児童生徒会を中心に学習発表会などで募金活動を行い、釜石市と大槌町にその益金を寄付しました。募金して下さった方や、作業製品を購入いただいた方々に復興ステッカーをお渡ししました。

小学部・中学部・しゃくなげ分教室では、これまでご支援をいただいた49団体に手紙と復興ステッカーを送っています。

同窓会

を12月22日(日)に行いました。

第5回となる今年は、昨年度の卒業生や成人式の写真をかかえた先輩などが23名、保護者・家族17名、旧職員8名、現職員21名、合計69名の参加でした。



総会の協議の後、会食、親睦会の音楽による交流をしたり、お互いに席を移動して、近況を語り合ったり、みなさんの笑顔と楽しい声が賑やかに響き合っていました。

年々参加者が増えて、プレイルームでは手狭な様子ですが、懐かしい校舎がみなさんを温かく待っています。また来年も元気にお会いしましょう。

まとめの活動

年度末を控えて、一年間の教育活動を振り返り、来年度計画を作成する時期になりました。12月には **学校評価** を行い、保護

者のみな様には、お忙しい中ご協力をいただき、ありがとうございました。

保護者のみな様は90%、職員96%、児童生徒34%(自答可能生徒100%)の回収率でした。おおむね良好な評価でしたが、復興支援、学校課題への取り組みなどは厳しい評価の項目もあり、謙虚に受け止め、新年度の計画や教育活動に反映できるよう取り組みます。

改めて、学校評価の結果と今後の取り組みについては、学校評議員会のご意見や、職員による協議などを経て、保護者のみな様にお知らせするとともに、学校Webページで公表して参ります。

2月5日の **学校評議員会** では、向定内南地区自治会代表様、小佐野小学校副校長様、豊心会職員様、国立釜石病院職員様、本校PTA代表様のみな様に、6月に行った第1回でお示した今年度の学校運営計画についての成果と課題、各学部の教育活動の報告、学校評価の結果などをお知らせしてご意見をいただく予定です。

2月6日の **学校保健委員会** では、学校医・学校薬剤師、保護者代表のみな様に、定期健康診断結果・環境衛生・保健室利用状況・保健指導・給食等に関して報告して、ご意見を伺います。



例年、肥満指導、教室環境としてカビ対策・空気清浄対策、歯磨き指導などが話題となり、専門的なご助言をいただいて、日常の指導に役立てています。

歩みをまとめて

本校の前身である小佐野小・中学校の分校「五葉学園」時代の通信「やまばと」と写真を整理しています。昭和46年には、小・中43名が入院生活し



ながら、喘息などの治療と学習や鍛錬をがんばる姿が紹介されています。

釜石養護学校時代のPTA広報「五葉松」同様に本校の歴史を語る貴重な資料です。データ保存やラミネート保存、過去のアルバム整理も行っていきます。

2月3日(月)8:30より、テツゲンさん附近の工事区間で、迂回路通行となりますので、現場の指示に従って、安全通行にご注意下さい。何かありましたら、お知らせ下さい。